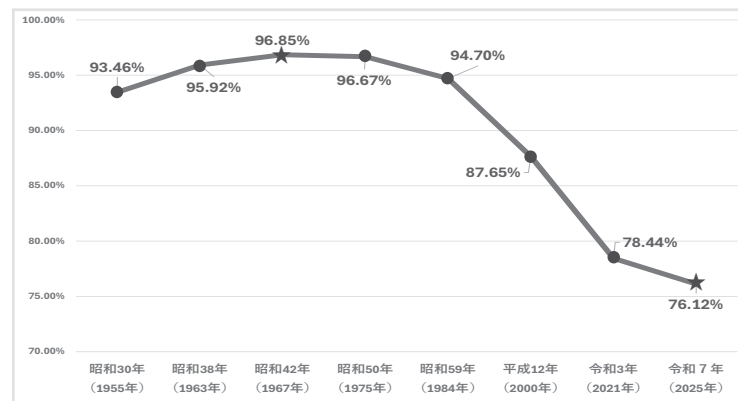


【図1】過去の町長選挙の投票率の推移



【図1】は、過去70年間に於ける様似町長選挙の投票率の推移です。1955年から1984年まで、投票率は90%を越えていましたが、平成に入ってから2000年以降は著しく低下傾向にあり、近年の町長選挙においては70%台で推移しています。先般の町長選挙とピーク時の1967年の投票率を比較してみると、およそ20%減少していることがわかります。一般的に自治

【図2】2025年9月28日町長選挙年代別投票率

年代	有権者数	投票者数	投票率
18-19	49	17	34.69%
20-29	200	96	48.00%
30-39	254	174	68.50%
40-49	375	266	70.93%
50-59	512	406	79.30%
60-69	547	488	89.21%
70-79	771	670	86.90%
80-89	418	314	75.12%
90-99	140	59	42.14%
100-	5	0	0.00%
合計	3,271	2,490	76.12%

*一時的に遠くに滞在しているかたや病院・介護施設に入院・入所しているかたは、滞在先の市町村選挙管理委員会や各施設で不在者投票ができますので、ご利用ください。

選挙に行つて投票するということでは、自分の意見を伝えるということですが、逆に投票しないということは、自分の意見がない・伝えないということになりますので、一部の人の考えだけに基づいて政治が行われてしまう可能性があります。選挙で誰を代表者に選ぶかによって、私たちの暮らしは大きく変わるかもしれません。

町の政治、町政は最も身近な政治の場です。様似町をよりよい町にするために、自分が住む町の政治について考えてみませんか。

■投票は暮らしを変える 第一歩

投票率の向上が今後の課題となります。

動手段がない、施設等に入所しているなど、投票所に行くのが困難であることが理由として考えられます。投票率の低さが目立ったのが20代で、投票率の高かった60代と比較しても約40%程度の差が見られました。総務省が公表する国政選挙の年代別投票率でも、20代の投票率が最も低く、若い世代の投票率の向上が今後の課題となります。

TOPIC

投票率から見る

様似町の選挙の現状

■9月28日、任期満了に伴う様似町長選挙が執り行われ、現職の荒木輝明町長が再選を果たしました。近年、国政選挙・地方選挙ともに投票率の低下が問題となっていますが、様似町においても例外ではありません。

荒木輝明町長 第2期目スタート



10月14日、町職員から拍手で出迎えられ、花束を受け取りました



様似町長 荒木 輝明

町民がしあわせと感じられる町づくりをめざして

町長就任あいさつ

このたびの様似町長選挙は、元議員との選挙戦でありましたが、多くの町民の皆さまの温かいご支援をいただき、当選することができました。

二期目として、町政を担当させていただくこととなりましたが、その責任の重さに身の引き締まる思いであり、決意を新たにしているところであります。

この四年間は、新型コロナウイルス感染症の流行や赤潮発生、高温被害といった、予測を超えた出来事に悩まされる中での取組でありましたが、公約の実現に向けて、しっかりと取り組ませていただきました。

今、各市町村は多種多様な課題に取り組まなければなりません。この町に住む皆さんが「しあわせと感じられる町づくり」の実現のために、誠心誠意取り組んでまいります。

重ねて、町民の皆さまに、今後一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げて、就任のあいさつとさせていただきます。

荒木町長が掲げる6つの政策目標 (一部抜粋)

①生活支援 「アポイクーポン」で町民のみなさんの暮らしを応援します	②安全で安心な町づくり 避難路や避難所の整備・備蓄品の確保など、様々な条件下を想定した防災対応を講じます
③産業振興・豊かな町づくり 若い世代が後継者として地元に戻りたいと希望を抱ける町を目指します	④福祉の充実 「シニアカフェ広場」の設置と、「さまに乗合ワゴン」の利便性を向上させます
⑤観光拠点設置・交流人口増加 道の駅「シャマニ会所(仮称)」の整備を検討します	⑥唯一無二の自然を活かして アポイ岳ジオパークの魅力を「様似っ子」たちとともに発信していきます